平成 21 年 5 月 12 日

各　　位

会 社 名　ウルシステムズ株式会社
代表者名　代表取締役社長　漆原　茂
（JASDAQ・コード 3798）
問合せ先
役職・氏名 取締役管理企画担当　高橋敬一
電話 03－6220－1416

特別損失の発生、業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成21年3月期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）において、下記のとおり当社が保有する「その他有価証券」に区分される投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、減損処理による投資有価証券評価損を計上するとともに、平成20年5月15日に公表いたしました平成21年3月期の業績予想及び配当予想を修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

１．特別損失（投資有価証券評価損）計上の内容

	単体	連結
(A)平成 21 年 3 月期第 4 四半期会計期間（平成 21 年 1 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで）の投資有価証券評価損の総額（＝イ－ロ）	140 百万円	140 百万円
(イ)平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで）の投資有価証券評価損の総額	140 百万円	140 百万円
(ロ)直前四半期（平成 21 年 3 月期第 3 四半期）累計期間（平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日まで）の投資有価証券評価損の総額	－百万円	－百万円

※四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。
※当社の決算期末は、3 月 31 日です。
※平成 18 年 7 月に当社が取得し保有している非上場株式について時価評価した結果、減損処理による投資有価証券評価損を計上する必要が生じたと判断したことによるものです。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

		単体	連結
(Ｂ)平成 20 年 3 月期末の純資産額		2,310 百万円	2,309 百万円
	（Ａ／Ｂ×１００）	6.1%	6.1%
	（イ／Ｂ×１００）	6.1%	6.1%
(Ｃ) 平成 20 年 3 月期の経常利益額		161 百万円	143 百万円
	（Ａ／Ｃ×１００）	87.0%	97.9%
	（イ／Ｃ×１００）	87.0%	97.9%
(Ｄ) 平成 20 年 3 月期の当期純損失額(△)		△23 百万円	△33 百万円
	（Ａ／Ｄ×１００）	－%	－%
	（イ／Ｄ×１００）	－%	－%

2. 平成21年3月期通期連結業績予想の修正及び前期個別実績との差異

平成21年3月期通期連結業績予想の修正（平成20年4月1日から平成21年3月31日）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回公表予想（A）	百万円 2,200	百万円 240	百万円 240	百万円 130	円銭 2,218.43
今回修正予想（B）	1,756	46	51	△42	△740.06
増減額（B）－（A）	△444	△194	△189	△172	－
増減率	△20.2%	△80.8%	△78.8%	－	－
（ご参考）前期実績 （平成 20 年 3 月期）	1,861	140	143	△33	△569.24

（注）平成21年3月期の単体での業績予想につきましては、連結子会社の業績に重要性がないことから公表しておりません。

（修正の理由）

①連結売上高

連結売上高の修正理由の主な内容は下記のとおりです。

（a）　想定をはるかに上回る急激な景気後退に伴う顧客企業のIT投資の抑制により、平成21年3月期第4四半期（平成21年1－3月期）における案件受注高が低迷したこと及び受託案件（ソフトウェア事業含む）の一部に納入遅延等が発生したことにより約300百万円程度当初予想を下回る予定です。

（b）　連結子会社を売却したことにより約100百万円程度当初予想を下回る予定です。

②連結営業利益及び連結経常利益

連結子会社の売却や単体での経費削減努力を行ったものの上記①の連結売上高の減少により、連結営業利益については194百万円、連結経常利益については189百万円、それぞれ当初予想を下回る見込みであります。

③当期純利益
上記①②の連結売上高、連結営業利益及び連結経常利益に関する修正理由に加え、連結子会社株式の売却益 48 百万円の計上と「1.特別損失（投資有価証券評価損）計上の内容」で記載のとおり、当社が当連結会計年度末に保有している投資有価証券の一部につき 140 百万円の投資有価証券評価損を計上したことにより、172 百万円程度当初予想を下回る見込みであります。

平成20年3月期個別実績との差異（平成20年4月1日から平成21年3月31日）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
平成 20 年 3 月期個別実績（A）	百万円 1,838	百万円 157	百万円 161	百万円 △23	円銭 △396.26
今回修正予想（B）	1,687	97	104	△52	△916.52
差異額（B）－（A）	△151	△60	△57	△29	－
差異率	△8.2％	△38.1％	△35.0％	－	－

（差異の内容）
①売上高
主にコンサルティング事業において年度後半の急激な景気後退による顧客企業のIT投資抑制により案件受注高が低迷したことにより、前期実績との差異が151百万円程度生じる見込みであります。

②　営業利益、経常利益及び当期純利益
全社的な経費削減努力を行ったものの上記①での売上高の減少を吸収できなかったことにより、営業利益については前期実績との差異が60百万円、経常利益については前期実績との差異が57百万円程度生じる見込みであります。

③　当期純利益
上記①②の売上高、営業利益及び経常利益に関する差異内容に加え、前記「1.特別損失（投資有価証券評価損）計上の内容」で記載のとおり、当社が当事業年度末に保有している投資有価証券の一部につき 140 百万円の投資有価証券評価損を計上したことにより、前期実績との差異が 29 百万円程度生じる予定であります。

3. 平成21年3月期配当予想の修正
（1）修正内容

	1株当たり配当金		
基準日	第 2 四半期末	期末	年間
前回発表予想（平成20年5月15日）	0 円 00 銭	444 円 00 銭	444 円 00 銭

今回修正予想		100 円 00 銭	100 円 00 銭
当期実績	0 円 00 銭		
（ご参考）前期実績 （平成 20 年 3 月期）	0 円 00 銭	0 円 00 銭	0 円 00 銭

（2）修正の理由

平成20年3月期の決算発表日（平成20年5月15日）に公表したとおり長期保有株主様への積極的な利益還元策として平成21年3月期より当面の配当性向を20％～30％とする完全業績連動型の配当政策を導入し、当初期末配当予想を1株当たり444円としておりました。平成21年3月期の最終損益は上記2.「平成21年3月期　通期連結業績予想の修正」に記載のとおり42百万円の当期純損失という結果となりましたが、配当開始の条件としておりましたソフトウェア事業（UMLaut/J-XML事業）が粗利益ベースで黒字化したことから、当初予想1株当たり444円を減額修正し、平成21年3月末日を基準日に1株当たり100円の配当を実施したいと考えております。

（注）業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

以上